

第42回 中小企業景況調査 (平成 26 年 7 月 - 9 月)

《調査結果の要約》

景気回復が進まずに消費が減退しています。

- ・全業種の業況判断 DI はマイナスに転じました。
- ・業種別 にみると、以下のとおりです。

3 ヶ月前から好転 ↑ : 建設業

3 ヶ月前から悪化 ↓ : 製造業、小売業（最寄品）、小売業（買回品）、飲食業、サービス業

1. 全業種の業況判断 DI は▲4.5（3 ヶ月前と比べ▲16.5 ポイント）と業況はプラスからマイナスに悪化しました。
2. 設備投資件数は 29 件（3 ヶ月前に比べ▲8 件）となりました。内訳の上位は、OA 機器 8 件、機械設備 8 件、車両運搬具 6 件、建物 5 件です。
3. 経営上の問題点（回答社数に対する比率）は、①需要の停滞：49%（54 社）が最も多く、②利用者ニーズの変化：30%（33 社）、③人件費以外の経費の増加：28%（31 社）、④単価の低下・上昇難：25%（28 社）、が続いています。

〈国内および神奈川県の中小企業の景況トピックス〉

- ・全国の中小企業の業況は、持ち直しの動きが見られるものの、一部業種には弱い動きを示したものもある。全産業の業況判断 DI はマイナス幅が縮小した。
2014 年 7 - 9 月期の全産業の業況判断 DI は、▲18.7（前期差 4.5 ポイント増）となり、マイナス幅が縮小した。製造業の業況判断 DI は、▲12.3（前期差 6.0 ポイント増）とマイナス幅が縮小した。機械器具でマイナスからプラスに転じ、パルプ・紙・紙加工品、木材・木製品、鉄鋼・非鉄金属、印刷、家具・装備品など 11 業種でマイナス幅が縮小し、繊維工業と輸送用機械器具の 2 業種でマイナス幅が拡大した。非製造業の業況判断 DI は、▲20.6（前期差 4.1 ポイント増）となり、マイナス幅が縮小した。産業別に見ると、卸売業、小売業、サービス業の 3 業種でマイナス幅が縮小し、建設業でマイナス幅が拡大した。
- ・神奈川県の中小企業景況は、業況 DI は前期比 3.5 ポイント低下の▲31.2 で、消費税改定前の駆け込み需要の影響が残った結果となった。経営状況では、売上 DI は同 5.4 ポイント上昇の▲18.5、また、採算 DI は同 2.0 ポイント上昇の▲30.5 となり、ともに上昇した。業況 DI は 2 期続けての低下となったが、今後の業況 DI を見ると、3 ヶ月後は現在比 2.4 ポイント上昇の▲28.8、また、半年後は同 4.7 ポイント上昇の▲26.5 となり、今後緩やかに回復すると見込んでいる。

* 国内は、独立行政法人 中小企業基盤整備機構、神奈川県は財団法人 神奈川産業振興センターの調査報告書から抜粋

《調査要領》

1. 調査時点：平成26年10月現在
2. 調査対象：鎌倉市内の中小企業、特に小規模企業（製造業・建設業・小売業（最寄品）・小売業（買回品）・飲食業・サービス業）の中から150企業を抽出しました。

	製造業	建設業	小売業		飲食業	サービス業	合計
			最寄品	買回品			
調査件数	15	15	23	30	37	30	150
回答数	11	14	16	18	27	25	111
回答率	73.3%	93.3%	69.6%	60.0%	73.0%	83.3%	74.0%

3. 調査方法：郵送によるアンケート方式(一部経営指導員による聞き取り)
4. 調査項目
 - (1). DIの状況について
 - ① 自社の業況 ② 売上額 ③ 資金繰り ④ 採算 ⑤ 従業員数
 - (2). 設備投資について
 - (3). 経営上の問題点について
5. 調査データについて
 - (1). DI: Diffusion Index(デフュージョンインデックス・景気動向指数)の略。
各調査項目について、「増加」・「好転」したなどとする企業割合から「減少」・「悪化」したなどとする企業割合を差引いた数値で、企業の景況感の判断に使用する指数。
 - (2). データは当該期間（四半期ごと）と、その前年同期および向こう3ヵ月の見通しを対比したものです。
 - ・ 四半期； 1年の4分の1、すなわち「3ヵ月間」
 - ・ 前期比； 3ヵ月前との比較
 - ・ 前年同期比； 1年前との比較

<DI計算例>

「やや増加」・「やや好転」50% 「変わらず」20% 「やや悪化」・「やや減少」30%
の場合、次のような計算になります。

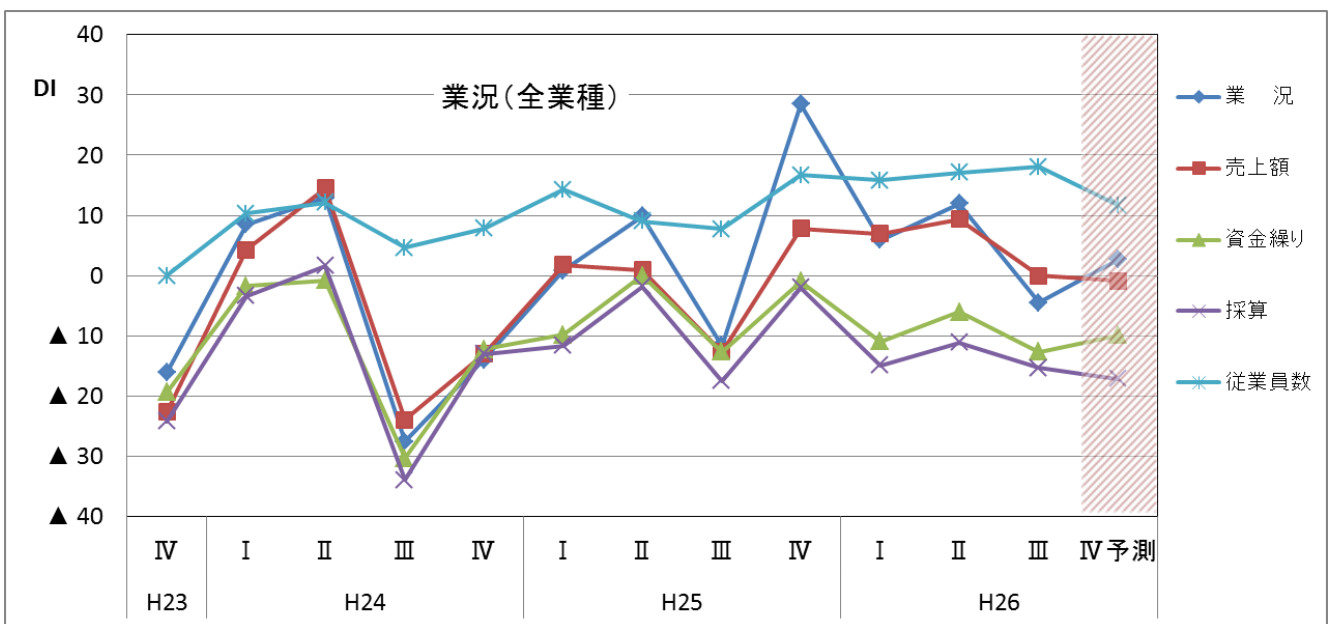
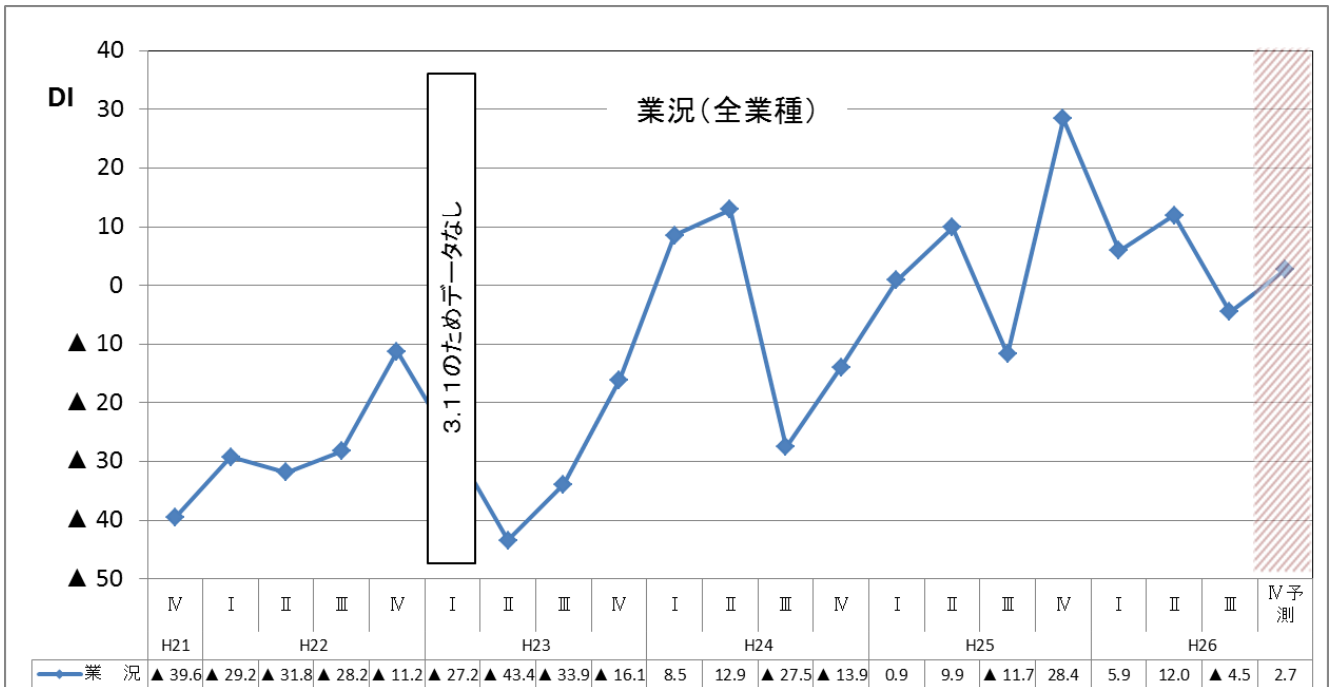
$$\begin{aligned} DI &= +50 - 30 \\ &= +20 \end{aligned}$$

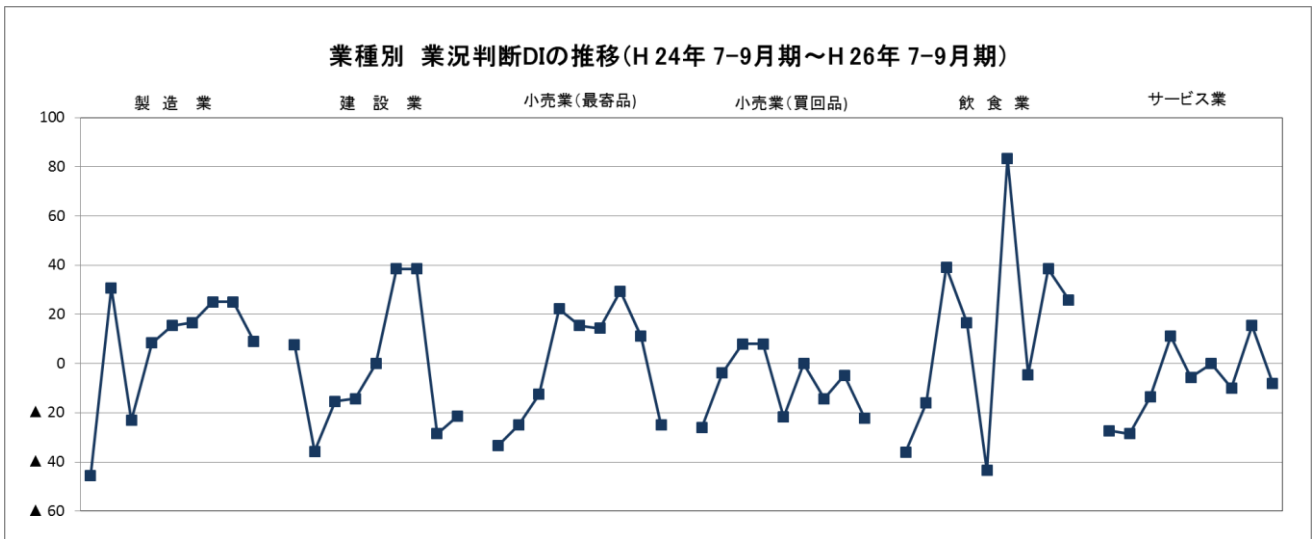
《調査結果》

I. 全業種

□ 業況 DI

- ・ 全業種の業況判断 DI は▲4.5（前期比▲16.5ポイント）とプラスからマイナスに悪化し、3ヵ月先は+2.7と改善の見通しです。
 - ・ 売上 DI は±0（前期比▲9.4ポイント）とプラス幅が縮小し、3ヵ月先は▲0.9と改善の見通しです。
 - ・ 資金繰り DI は▲12.6（前期比▲6.6ポイント）とマイナス幅が拡大し、3ヵ月先は▲9.9と改善の見通しです。
 - ・ 採算 DI は▲15.3（前期比▲4.2ポイント）とマイナス幅がわずかに拡大し、3ヵ月先は▲17.1と悪化の見通しです。
 - ・ 従業員数 DI は+18.0（前期比+0.9ポイント）と人手不足感がわずかに拡大し、3ヵ月先は+11.7と人手不足感は縮小する見通しです。
- ・ 業種別の業況判断 DI は、建設業で改善し、製造業、小売業（最寄品）、小売業（買回品）、飲食業、サービス業製で悪化した。



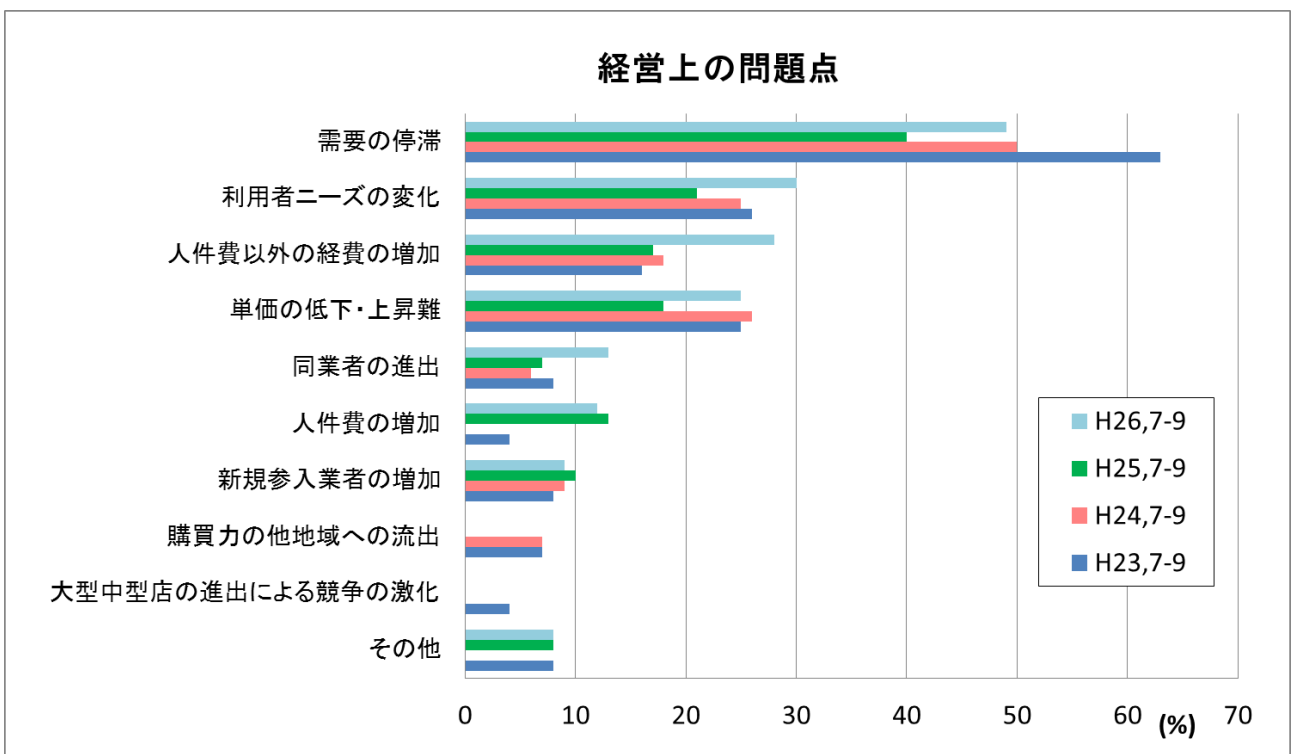


□設備投資の動向

- ・設備投資件数は 29 件（3 ヶ月前に比べ▲8 件）となりました。内訳の上位は、
○A機器 8 件、機械設備 8 件、車両運搬具 6 件、建物 5 件です。

□経営上の問題点

- ・経営上の問題点（回答社数に対する比率）は、①需要の停滞：49%（54 社）が最も多く、
②利用者ニーズの変化：30%（33 社）、③人件費以外の経費の増加：28%（31 社）、
④単価の低下・上昇難：25%（28 社）、が続いています。

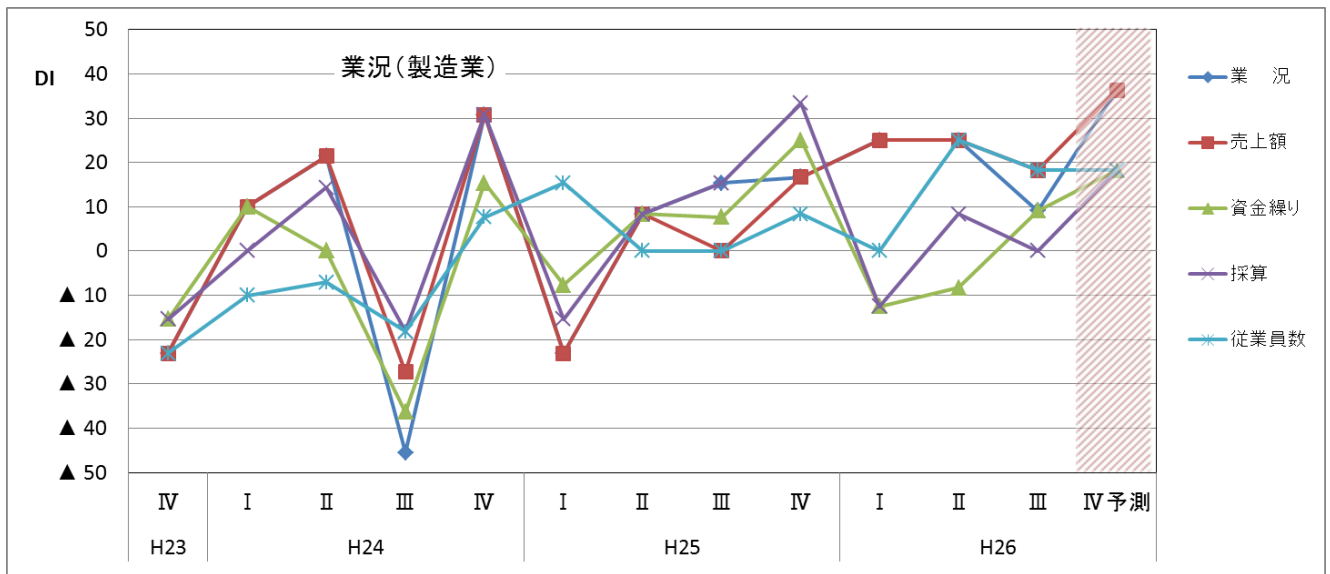


II. 業種別

1. 製造業

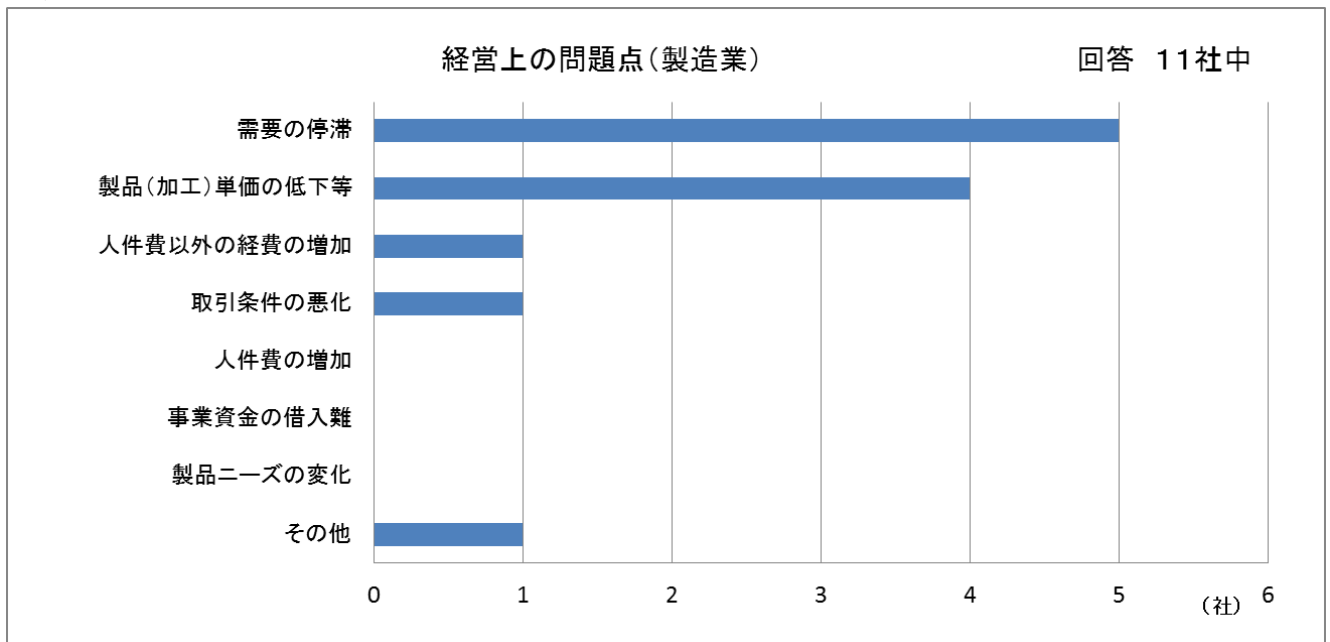
□業況DI

- ・業況判断DIは+9.1（前期比製造業▲15.9ポイント）とプラス幅が縮小し、3ヵ月先は+36.4と改善の見通しです。
- ・売上DIは+18.2（前期比▲6.8ポイント）とプラス幅が縮小し、3ヵ月先は+36.4と改善の見通しです。
- ・資金繰りDIは+9.1（前期比+17.4ポイント）とマイナスからプラスに改善し、3ヵ月先は+18.2とさらに改善の見通しです。
- ・採算DIは±0（前期比▲8.3ポイント）とプラス幅が縮小し、3ヵ月先は+18.2と改善の見通しです。
- ・従業員数DIは+18.2（前期比▲6.8ポイント）と人手不足感が縮小し、3ヵ月先は+18.2と横ばいの見通しです。



□設備投資の動向 設備投資件数はOA機器2件、機械設備と車輛運搬具の各1件です。

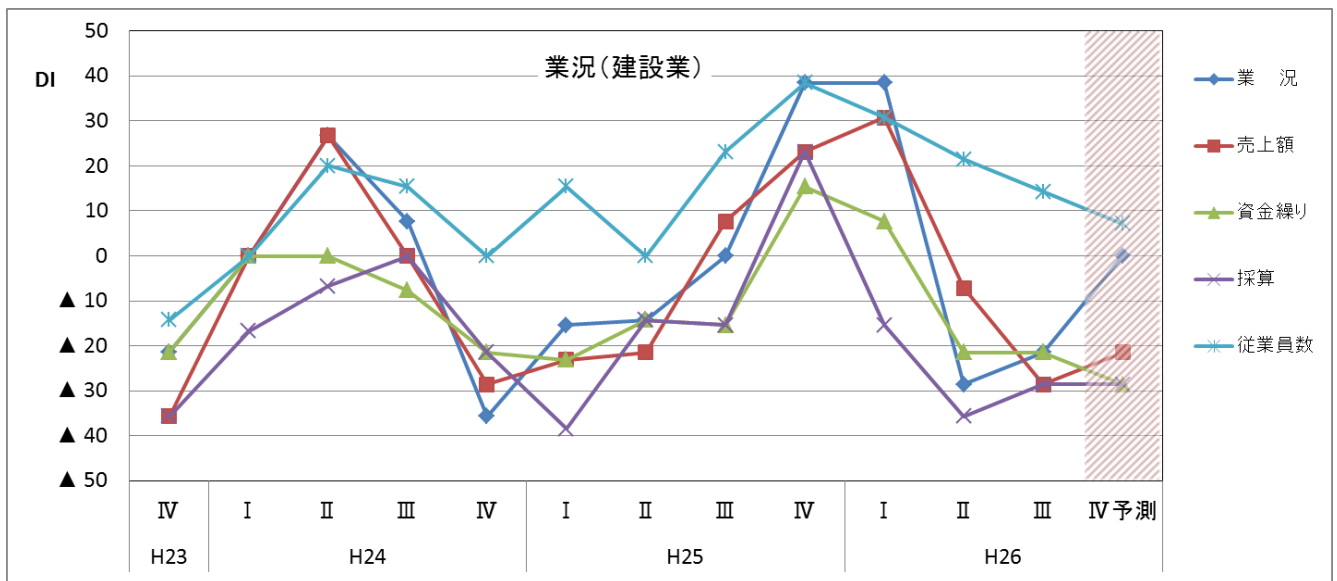
□経営上の問題点



2. 建設業

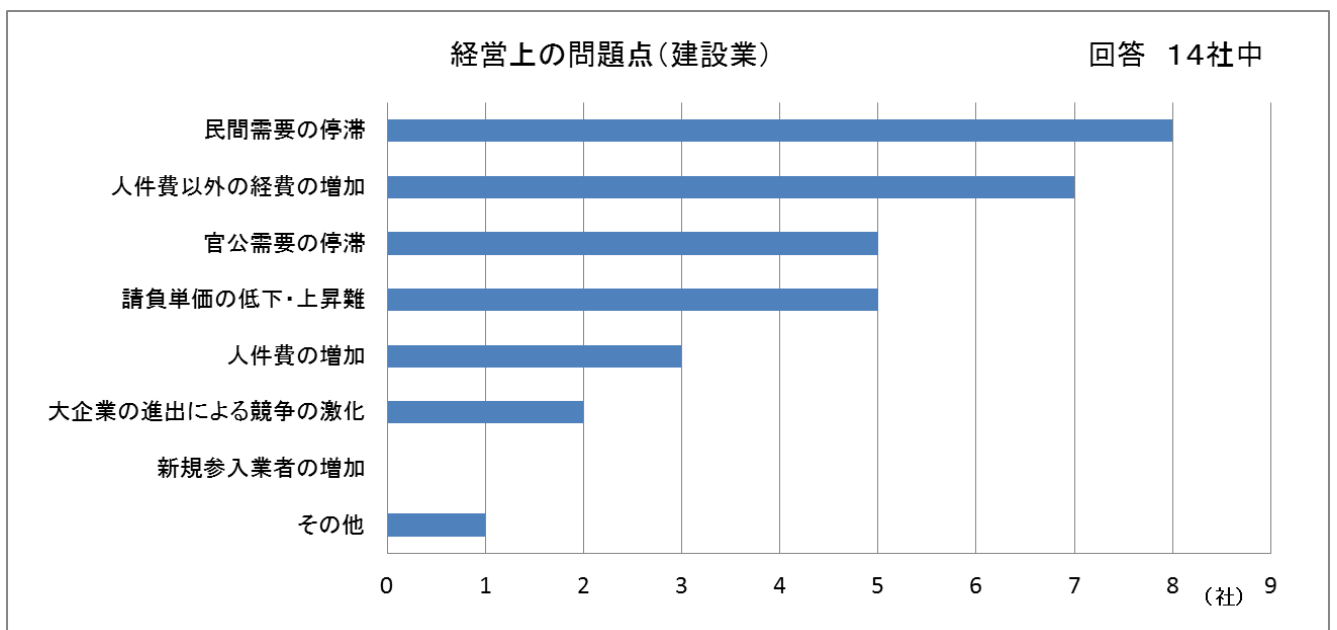
□業況 DI

- ・ 業況判断 DI は▲21.4（前期比+7.1 ポイント）とマイナス幅が縮小し、3 ヶ月先は±0 と改善の見通しです。
- ・ 売上 DI は▲28.6（前期比▲21.4 ポイント）とマイナス幅が大きく拡大し、3 ヶ月先は▲21.4 と改善の見通しです。
- ・ 資金繰り DI は▲21.4（前期比±0 ポイント）とマイナス水準で推移し、3 ヶ月先は▲28.6 と悪化の見通しです。
- ・ 採算 DI は▲28.6（前期比+7.1 ポイント）とマイナス幅が縮小し、3 ヶ月先は▲28.6 と横ばいの見通しです。
- ・ 従業員数 DI は+14.3（前期比▲7.1 ポイント）と人手不足感が縮小し、3 ヶ月先は+7.1 と不足感がさらに縮小する見通しです。



□設備投資の動向 設備投資件数は車両運搬具 1 件です。

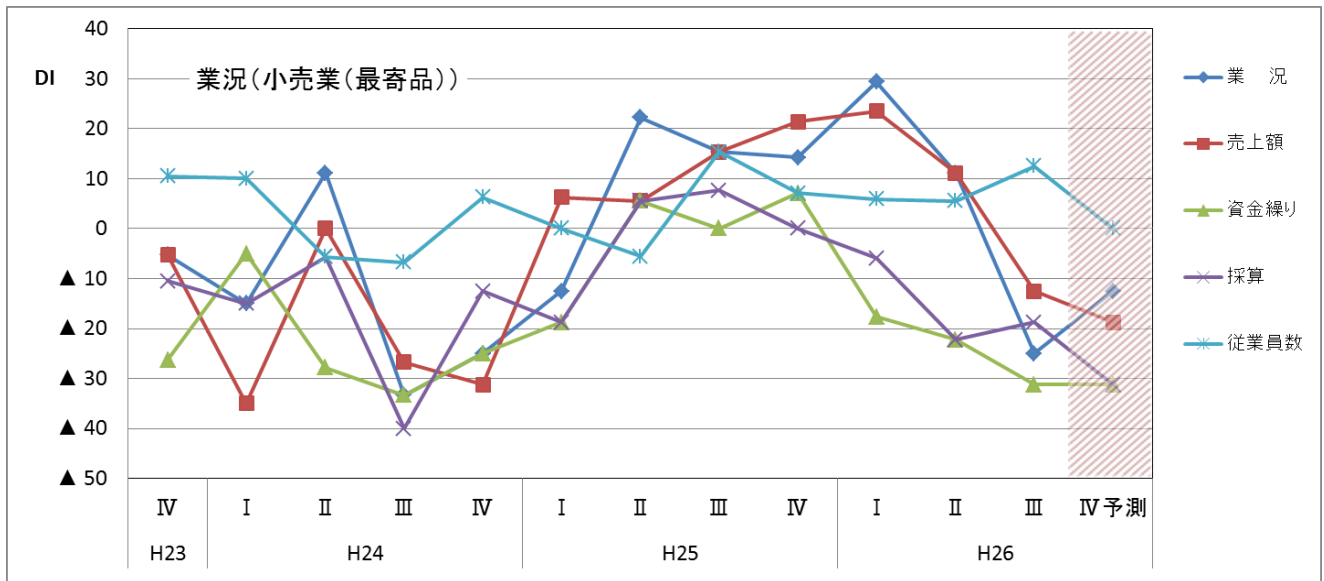
□経営上の問題点



3. 小売業（最寄品）

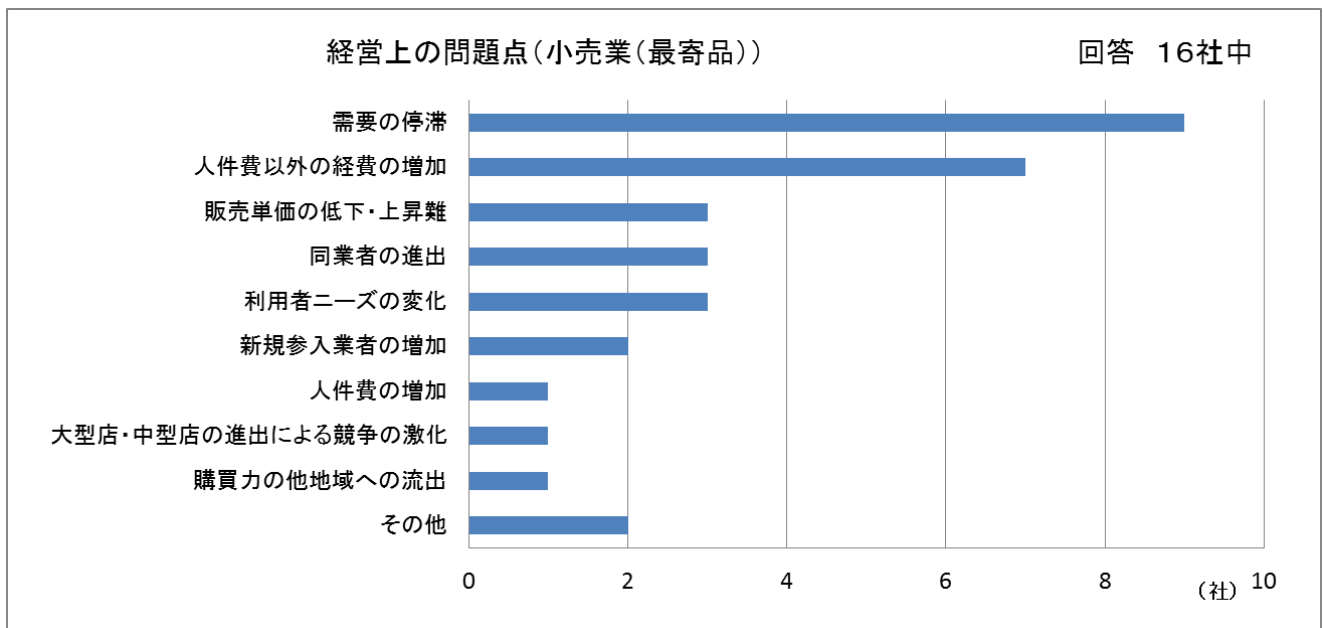
□業況 DI

- ・業況判断 DI は▲25.0（前期比▲36.1ポイント）とプラスからマイナスへ大きく悪化し、3ヵ月先は▲12.5と改善の見通しです。
- ・売上 DI は▲12.5（前期比▲23.6ポイント）とプラスからマイナスへ大きく悪化し、3ヵ月先は▲18.8とさらに悪化の見通しです。
- ・資金繰り DI は▲31.3（前期比▲9.0ポイント）とマイナス幅が拡大し、3ヵ月先は▲31.3と横ばいの見通しです。
- ・採算 DI は▲18.8（前期比+3.5ポイント）とマイナス幅がわずかに縮小し、3ヵ月先は▲31.3と悪化の見通しです。
- ・従業員 DI は+12.5（前期比+6.9ポイント）と人手不足感は拡大し、3ヵ月先は±0と人手不足感が縮小する見通しです。



□設備投資の動向 設備投資件数は機械設備と建物の各2件、OA機器とその他の各1件です。

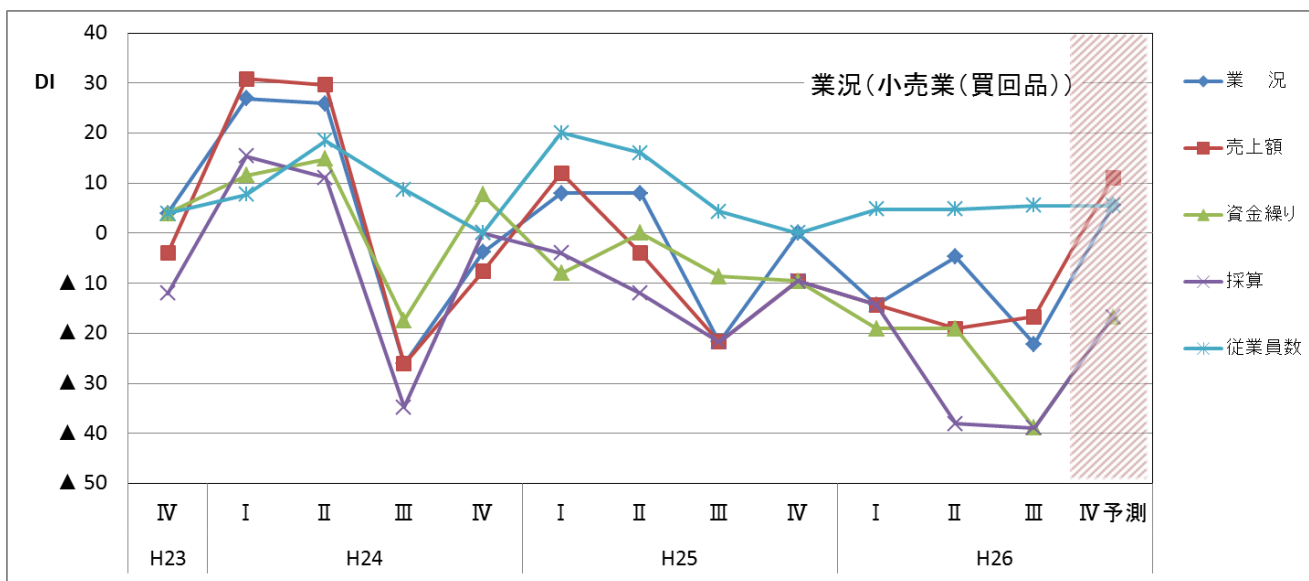
□経営上の問題点



4. 小売業（買回品）

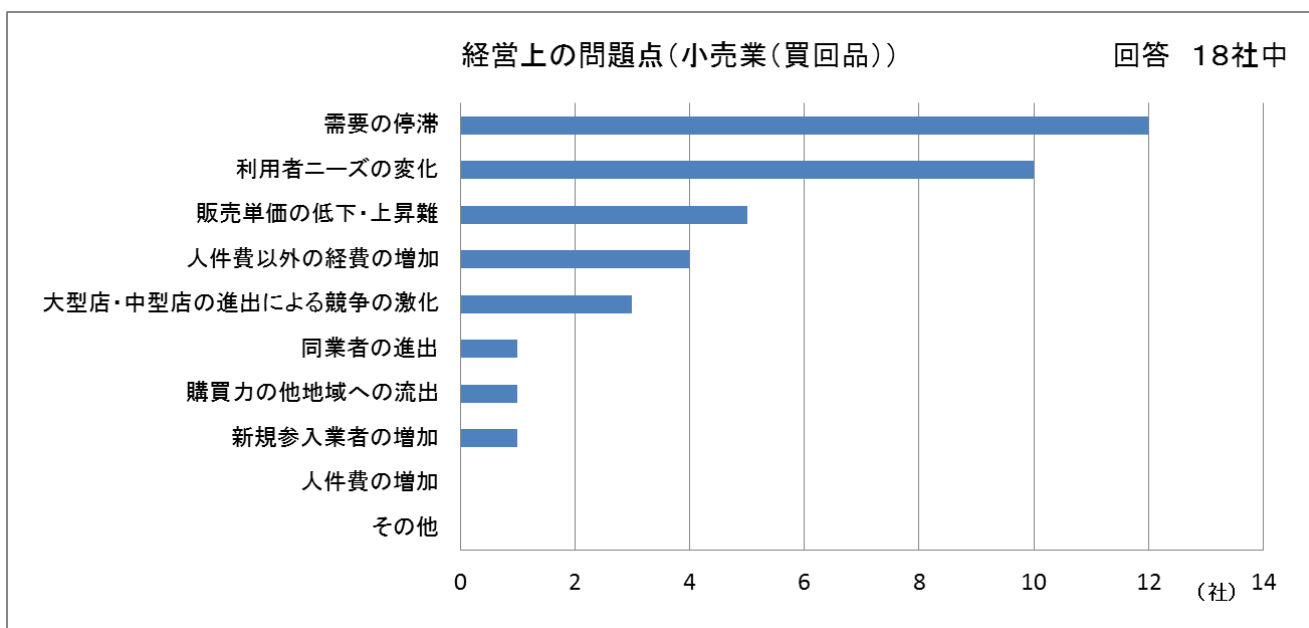
□業況 DI

- ・業況判断 DI は▲22.2（前期比▲17.5 ポイント）とマイナス幅が拡大し、3 ヶ月先は+5.6 と改善の見通しです。
- ・売上 DI は▲16.7（前期比+2.4 ポイント）とマイナス幅がわずかに縮小し、3 ヶ月先は+11.1 と改善の見通しです。
- ・資金繰り DI は▲38.9（前期比▲19.8 ポイント）とマイナス幅が拡大し、3 ヶ月先は▲16.7 と改善の見通しです。
- ・採算 DI は▲38.9（前期比▲0.8 ポイント）とマイナス幅がわずかに拡大し、3 ヶ月先は▲16.7 と改善の見通しです。
- ・従業員数 DI は+5.6（前期比+0.8 ポイント）と人手不足感がわずかに拡大し、3 ヶ月先は+5.6 と横ばいの見通しです。



□設備投資の動向 設備投資件数はOA機器1件です。

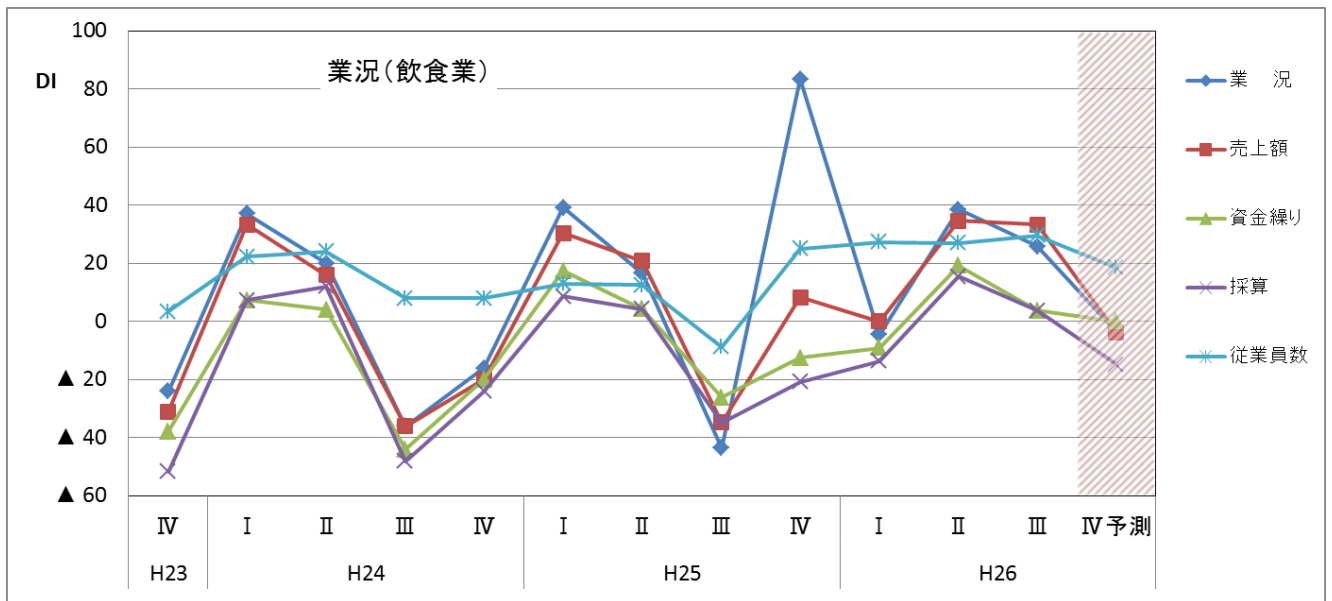
□経営上の問題点



5. 飲食業

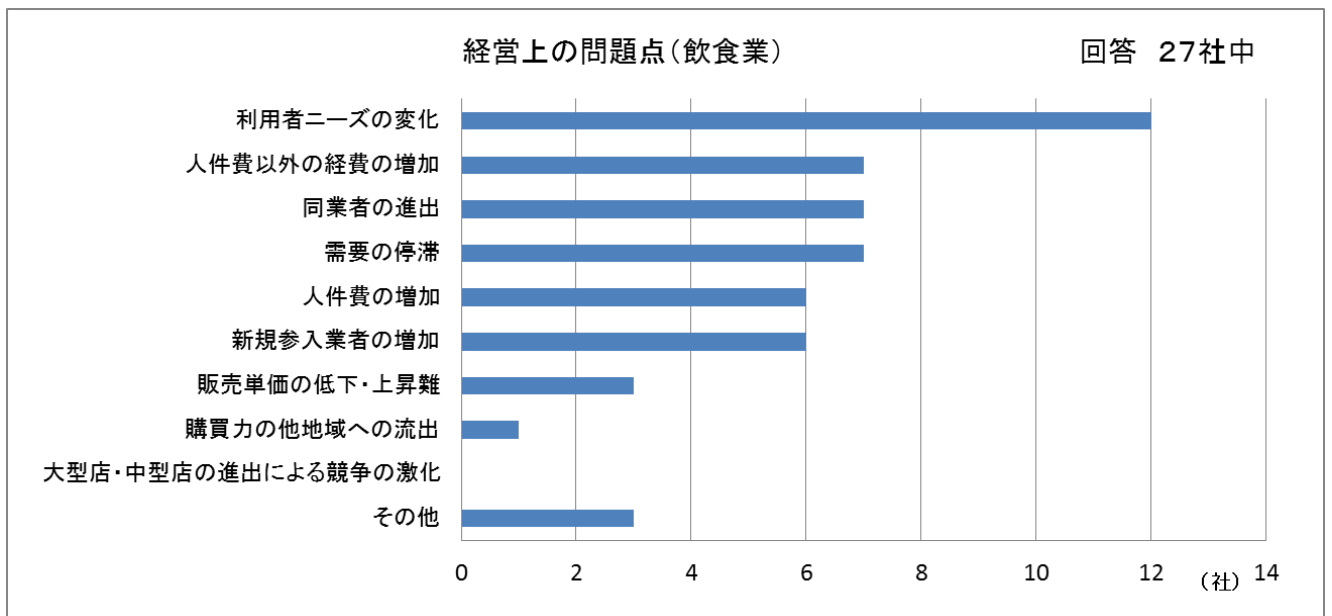
□業況 DI

- ・業況判断 DI は+25.9（前期比▲12.5 ポイント）とプラス幅が縮小し、3 ヶ月先は▲3.7 と悪化の見通しです。
- ・売上 DI は+33.3（前期比▲1.3 ポイント）とプラス幅がわずかに縮小し、3 ヶ月先は▲3.7 と悪化の見通しです。
- ・資金繰り DI は+3.7（前期比▲15.5 ポイント）とプラス幅が縮小し、3 ヶ月先は±0 と悪化の見通しです。
- ・採算 DI は+3.7（前期比▲11.7 ポイント）とプラス幅が縮小し、3 ヶ月先は▲14.8 と悪化の見通しです。
- ・従業員数 DI は+29.6（前期比+2.7 ポイント）と人手不足感がわずかに拡大し、3 ヶ月先は+18.5 と不足感が縮小する見通しです。



□設備投資の動向 設備投資件数は機械設備 4 件、建物と車両運搬具各 2 件、OA 機器とその他各 1 件です。

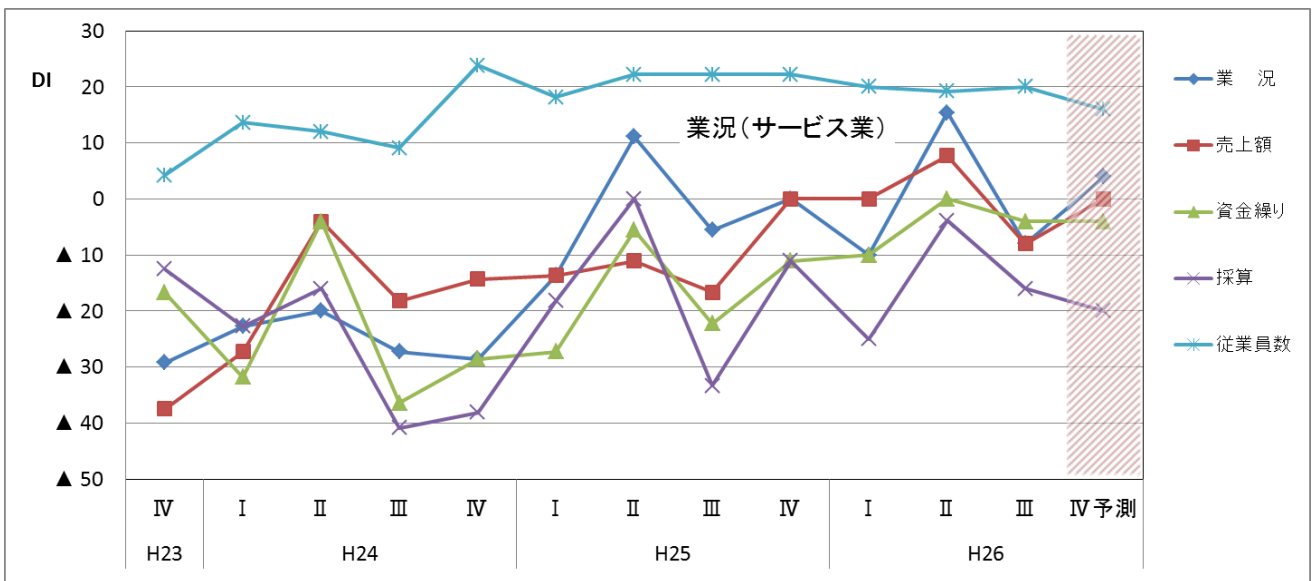
□経営上の問題点



6. サービス業

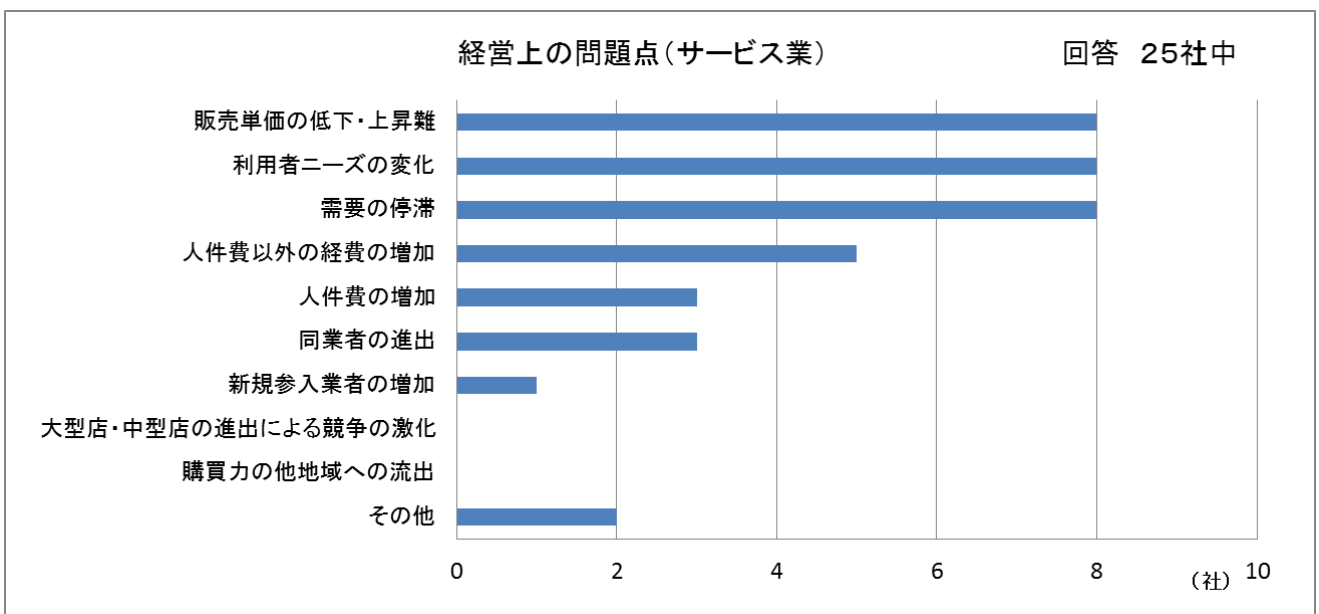
□業況 DI

- ・業況判断 DI は▲8.0（前期比▲23.4ポイント）とプラスからマイナスへ大きく悪化し、3ヵ月先は+4.0と改善の見通しです。
- ・売上 DI は▲8.0（前期比▲15.7ポイント）とプラスからマイナスへ悪化し、3ヵ月先は±0と改善の見通しです。
- ・資金繰り DI は▲4.0（前期比+▲4.0ポイント）とマイナス幅がわずかに拡大し、3ヵ月先は▲4.0と横ばいの見通しです。
- ・採算 DI は▲16.0（前期比▲12.2ポイント）とマイナス幅が拡大し、3ヵ月先は▲20.0と悪化の見通しです。
- ・従業員数 DI は+20.0（前期比+0.8ポイント）と人手不足感がわずかに拡大し、3ヵ月先は+16.0と不足感は縮小する見通しです。

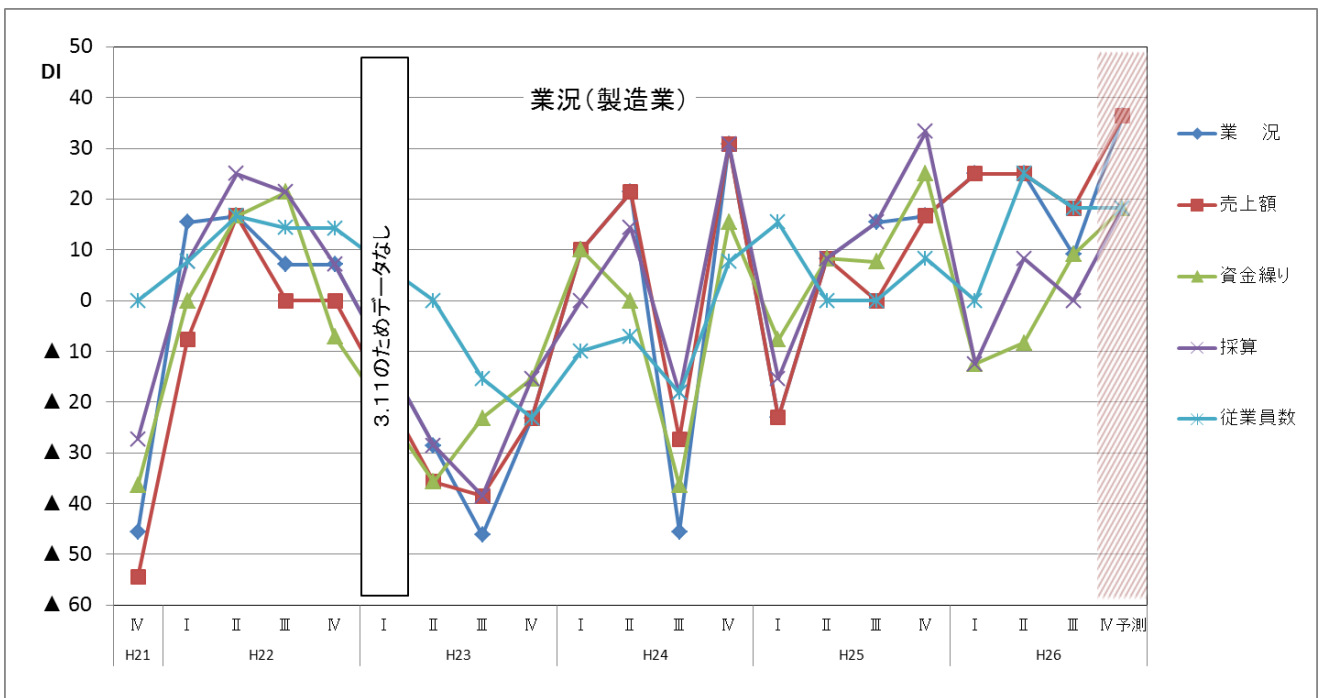
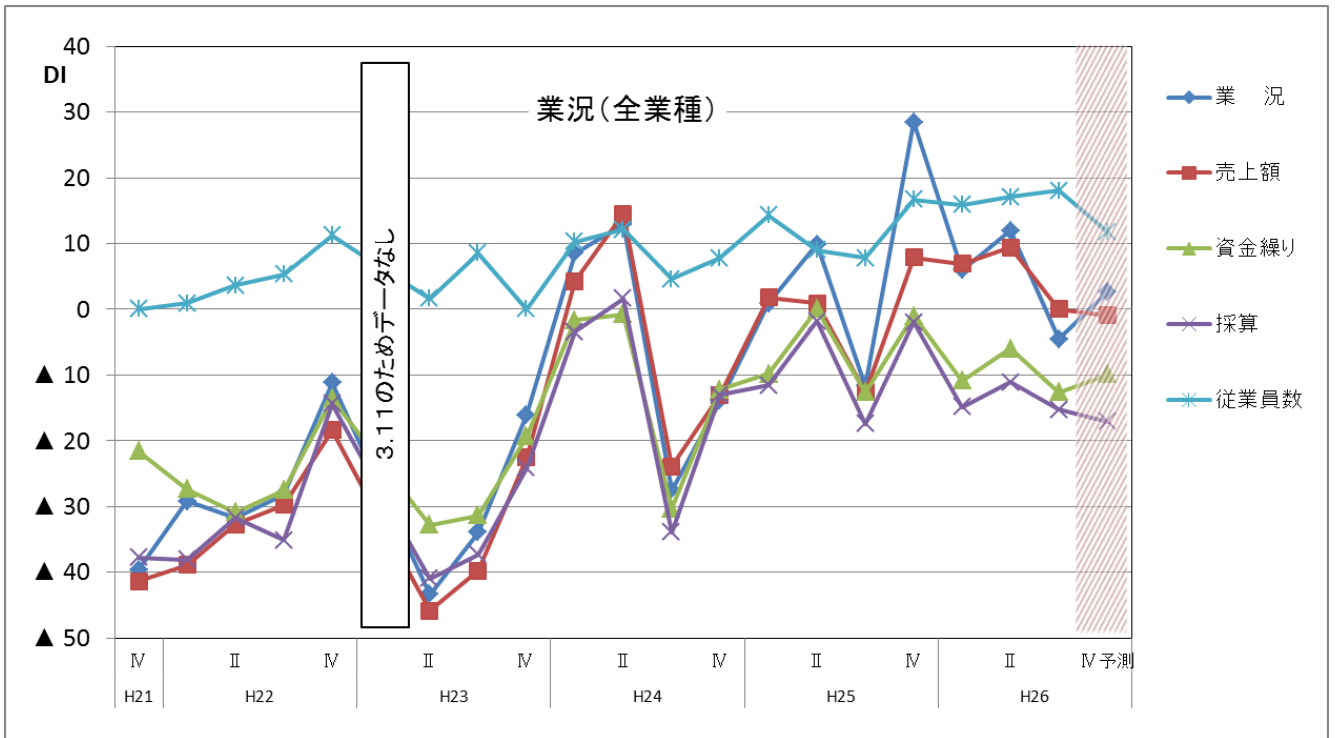


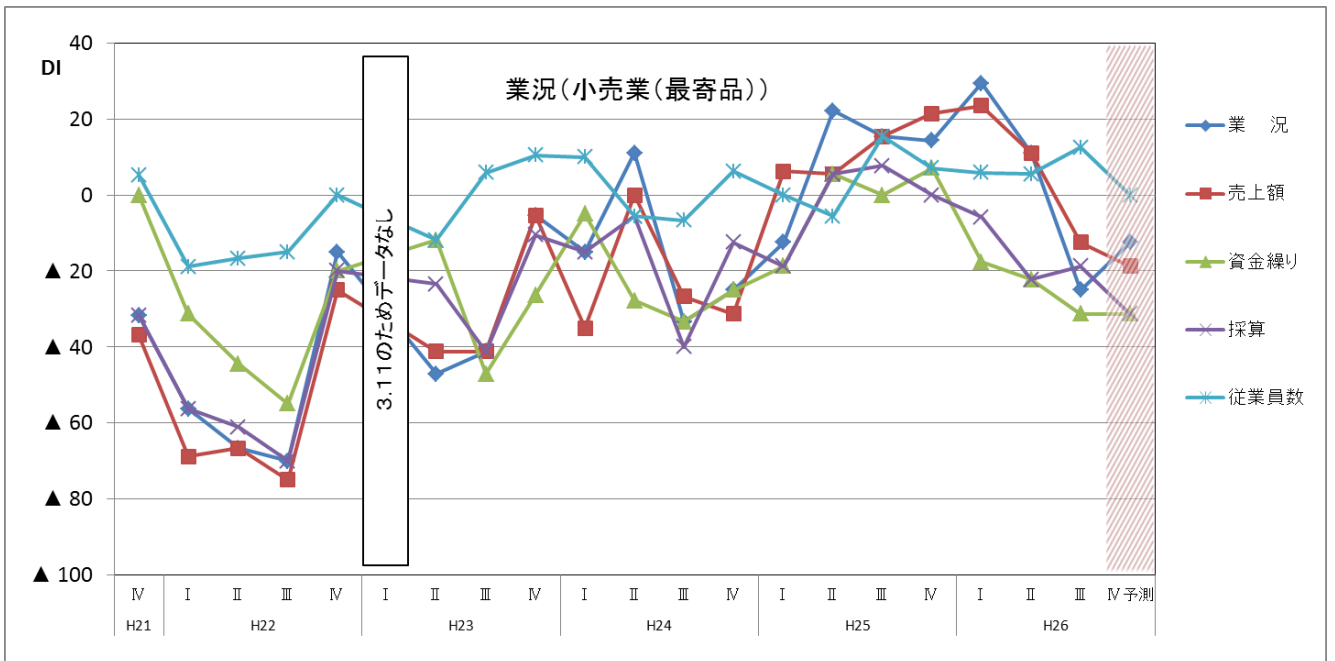
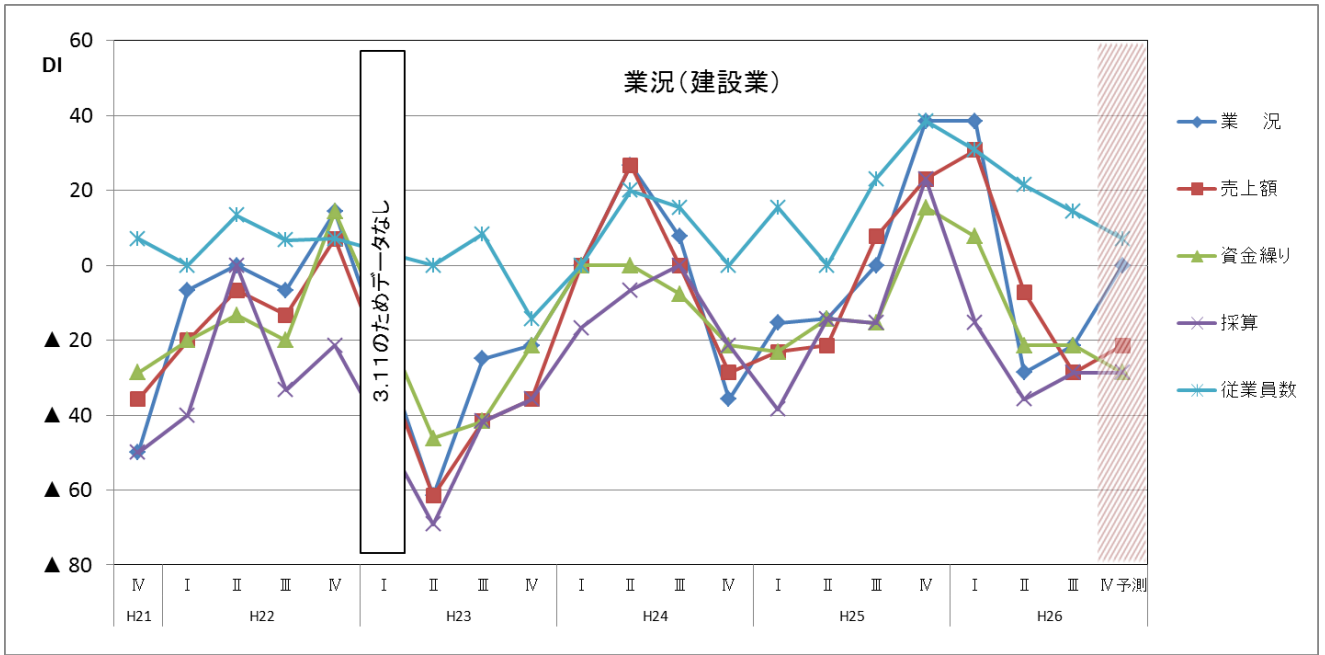
□設備投資の動向 設備投資件はOA機器 3 件、車両運搬具 2 件、機械設備と建物各 1 件です。

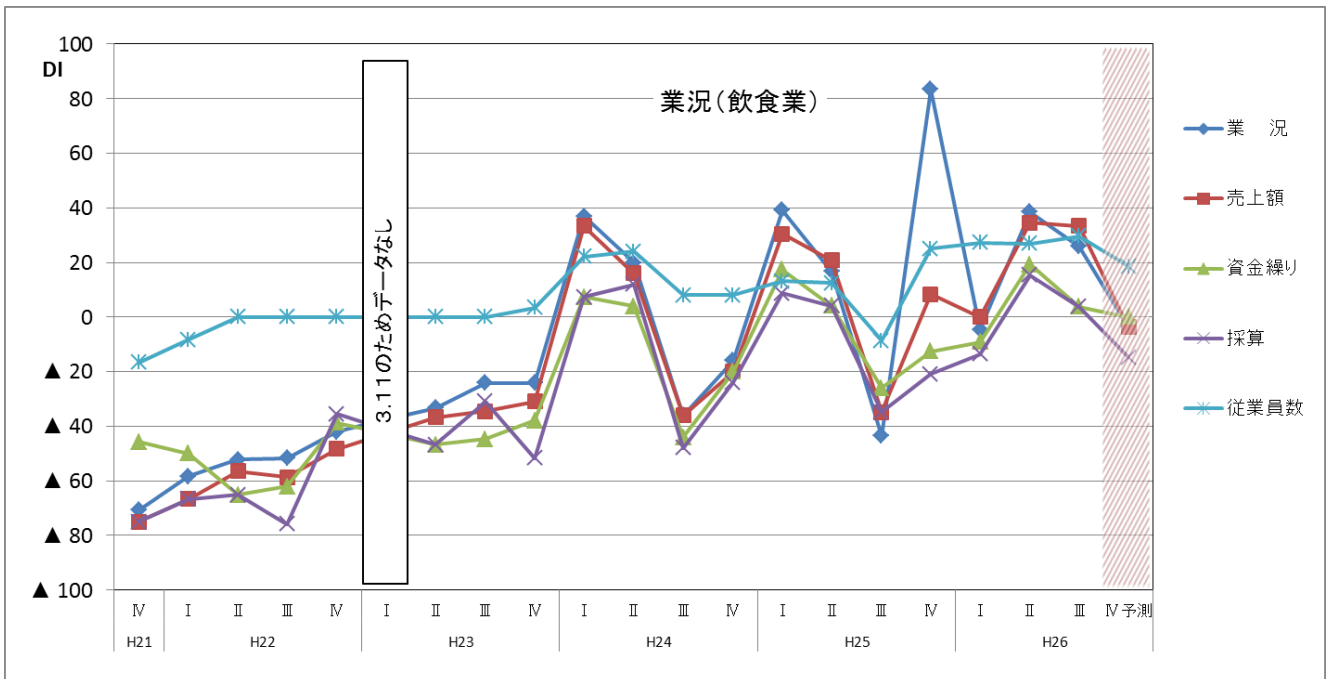
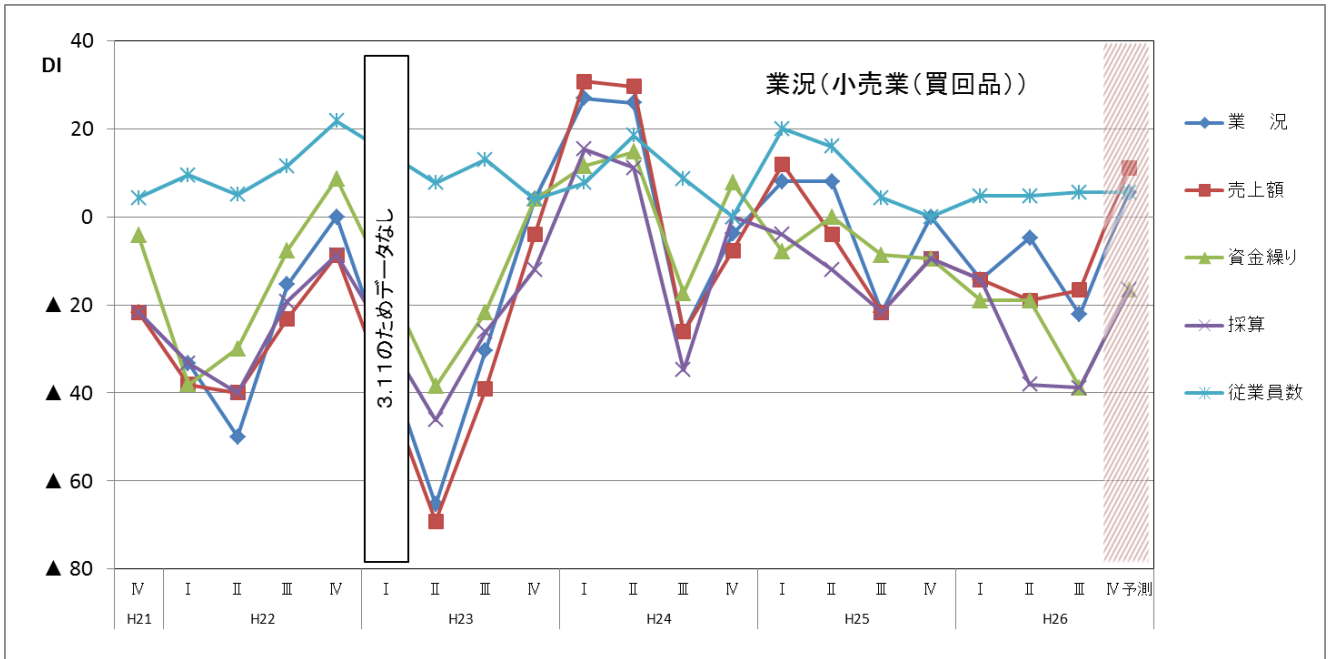
□経営上の問題点

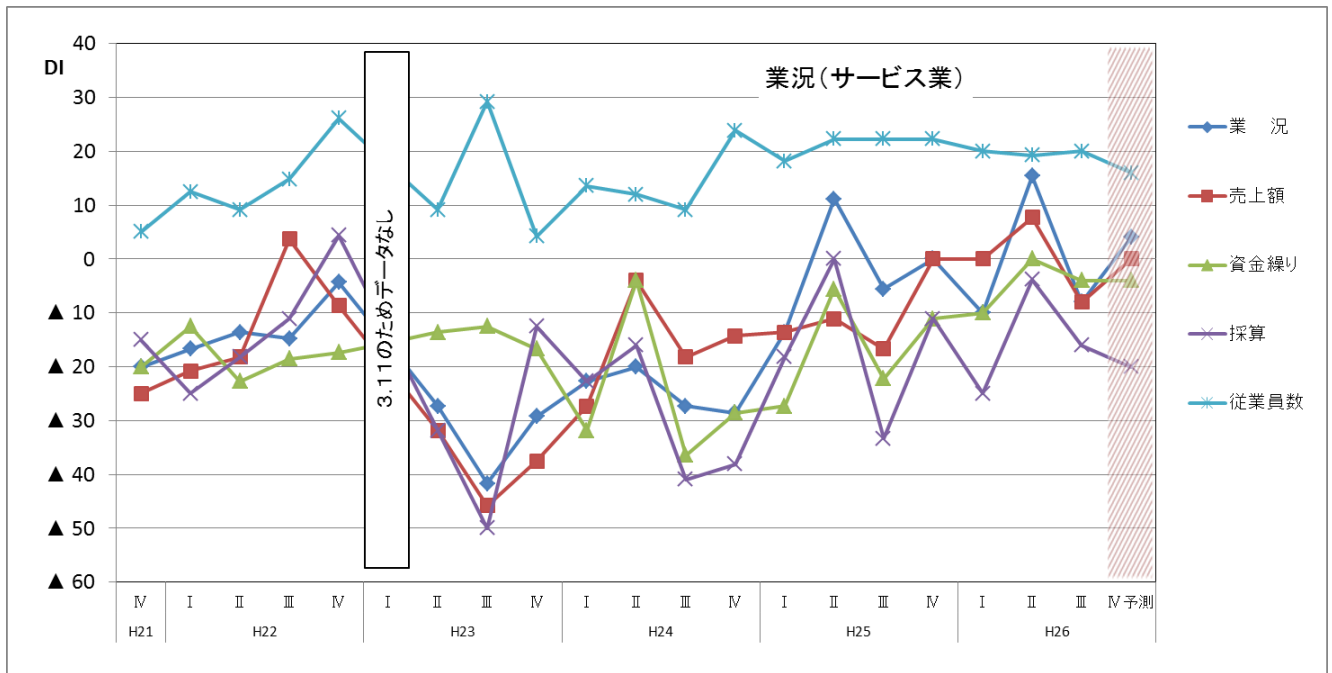


《資料》 5年分の推移









設備投資

全業種	H21				H22				H23				H24				H25				H26				
	IV	I	II	III	IV	I	II	III	IV	I	II	III	IV	I	II	III	IV	I	II	III	IV	I	II	III	IV
OA機器	5	4	7	6	4	-	8	4	4	5	7	4	3	3	2	4	7	14	15	8	4				
機械設備	5	2	4	1	1	-	3	1	6	3	4	2	4	3	3	4	4	3	8	8	4				
車輛運搬具	6	1	3	6	1	-	3	4	3	5	10	3	3	1	4	3	4	11	6	6	2				
建物	2	1	1	4	3	-	3	5	4	7	5	4	2	2	3	5	2	4	5	5	4				
その他	3	0	1	2	1	-	3	3	0	0	1	2	1	1	3	2	1	1	3	2	2				

製造業	H21				H22				H23				H24				H25				H26				
	IV	I	II	III	IV	I	II	III	IV	I	II	III	IV	I	II	III	IV	I	II	III	IV	I	II	III	IV
OA機器	2	1	1	2	1	-	2	1	0	0	1	0	0	0	0	1	2	4	4	2	1				
機械設備	0	1	0	1	0	-	0	1	1	1	2	0	0	0	0	0	0	1	1	1	0				
車輛運搬具	1	0	0	0	0	-	1	0	1	0	1	0	0	0	0	0	1	1	0	1	0				
建物	1	0	1	1	0	-	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0				
その他	0	0	0	0	0	-	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0				

建設業	H21				H22				H23				H24				H25				H26				
	IV	I	II	III	IV	I	II	III	IV	I	II	III	IV	I	II	III	IV	I	II	III	IV	I	II	III	IV
OA機器	0	0	1	1	1	-	1	1	3	0	2	0	0	0	0	0	2	2	3	0	0				
機械設備	0	1	0	0	0	-	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0				
車輛運搬具	2	1	1	0	0	-	0	1	1	2	1	1	0	0	1	0	0	3	1	1	0				
建物	0	0	0	0	0	-	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0				
その他	1	0	0	0	0	-	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	1	0	0	0				

小売業 (最寄品)	H21				H22				H23				H24				H25				H26				
	IV	I	II	III	IV	I	II	III	IV	I	II	III	IV	I	II	III	IV	I	II	III	IV	I	II	III	IV
OA機器	1	1	1	0	1	-	0	0	0	1	0	0	0	1	1	2	3	2	2	1	1				
機械設備	1	0	1	0	1	-	0	0	2	0	0	0	0	0	2	2	1	1	2	2	2				
車輛運搬具	0	0	0	2	0	-	1	2	0	1	2	1	0	1	1	0	1	2	1	0	0				
建物	0	0	0	1	0	-	0	2	2	2	1	2	0	0	0	2	0	0	1	2	2				
その他	1	0	0	0	0	-	0	1	0	0	0	0	1	0	1	0	0	0	0	1	0				

小売業 (最寄品)	H21				H22				H23				H24				H25				H26				
	IV	I	II	III	IV	I	II	III	IV	I	II	III	IV	I	II	III	IV	I	II	III	IV	I	II	III	IV
OA機器	1	1	1	0	1	-	0	0	0	1	0	0	0	1	1	2	3	2	2	1	1				
機械設備	1	0	1	0	1	-	0	0	2	0	0	0	0	0	2	2	1	1	2	2	2				
車輛運搬具	0	0	0	2	0	-	1	2	0	1	2	1	0	1	1	0	1	2	1	0	0				
建物	0	0	0	1	0	-	0	2	2	2	1	2	0	0	0	2	0	0	1	2	2				
その他	1	0	0	0	0	-	0	1	0	0	0	0	1	0	1	0	0	0	0	1	0				

飲食業	H21		H22		H23				H24				H25				H26				
	IV	I	II	III	IV	I	II	III	IV	I	II	III	IV	I	II	III	IV	I	II	III	IV予測
OA機器	1	1	1	0	1	-	1	0	0	0	1	0	0	0	0	1	0	1	2	1	2
機械設備	1	0	3	0	0	-	2	0	2	1	1	1	3	3	1	2	2	1	5	4	2
車輛運搬具	1	0	0	1	1	-	0	0	0	1	3	0	0	0	1	2	1	0	2	2	2
建物	0	0	0	2	3	-	2	1	1	1	0	0	1	1	3	2	0	1	2	2	1
その他	0	0	0	1	1	-	2	2	0	0	1	1	0	0	2	1	1	0	2	1	0

サービス業	H21		H22		H23				H24				H25				H26				
	IV	I	II	III	IV	I	II	III	IV	I	II	III	IV	I	II	III	IV	I	II	III	IV予測
OA機器	0	0	1	3	0	-	3	1	0	4	2	2	1	1	0	0	0	4	3	3	0
機械設備	2	0	0	0	0	-	1	0	0	1	0	0	1	0	0	0	1	0	0	1	0
車輛運搬具	1	0	1	1	0	-	1	0	0	1	2	0	2	0	1	1	1	3	1	2	0
建物	0	0	0	0	0	-	0	1	1	1	2	2	1	0	0	0	0	1	1	1	1
その他	1	0	1	1	0	-	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	1	0	1

以上